



「小諸宿本陣主屋」を 便益施設（飲食施設）として 改修工事します。

これまで教養施設として活用してきた本陣主屋を、まちなかの賑わい創出、観光需要の回復、地域経済の発展を目的として活用するため、令和5年7月から改修工事を実施します。

☒ 商工観光課 企業立地定住促進係



【パース】

※あくまでもイメージです。

本陣主屋は、数回の移築を繰り返しているため、建物のほとんどは新建材を使用していますが、所々に建築当時の部材が使用されているため、改修工事に当たっては、当時の部材はそのまま活用したり、一部撤去する箇所においては、後で復元できるよう配慮し、部材等を大切に保管します。また、これまで冬季は休館していましたが、改修後は、通年で開館することになります。

【平面図】



基本的に外観は改修せず、内装工事のみになります。本陣主屋の入り口を階段仕上げにし、事務所があったスペースをキッチンスペースに改修します。大広間はメインダイニング、その両隣は、バーカウンターやオープンキッチンにします。床は畳を撤去し、フローリング又は絨毯に改修します。壁は一部撤去しますが、天井などはそのまま使用する予定です。



令和5年1月23日に開いた記者会見の様子。
写真左：株式会社藤屋 写真右：小諸市

令和5年1月23日に、「小諸本陣主屋活用プロジェクト」と題して、株式会社藤屋様と小諸市とで共同記者会見を開きました。株式会社藤屋様（藤屋御本陣）は、長野市善光寺門前でレストランとウェディング事業を手掛けており、改修後の便益施設となった本陣主屋の運営を担っていただきます。本陣主屋は、地元産食材を堪能できる飲食店として運営していただくとともに、本陣主屋を含めた小諸の歴史に関する情報発信をしていきます。

【運営事業者】

株式会社藤屋（長野市大門町80）

【施設整備に要する費用】

総事業費 6,827万円（内、国補助金 1,360万円／市補助金 1,360万円／事業者 4,107万円）
※市補助金については、国から追加で交付税措置による負担軽減があります。